

---

# 特別じゃなくていい - 初恋 -

choco ( 青い花 )

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

特別じゃなくていい - 初恋 -

### 【コード】

N5470C

### 【作者名】

choco(青い花)

### 【あらすじ】

きみと僕の特別じゃないけど、甘酸っぱい恋。

(前書き)

初恋を描いてみました。

小説よりも詩に近いかもしれません。

僕は恋をしている。

でも 特別な恋なんかじゃない。

そう、誰もがする普通の恋を。

きみとの帰り道、いつもと同じ道を歩いているのに  
なんだかわからいけど、やけに瞳に映る夕日が鮮やかにみえるんだ。

僕たちふたりは帰り道を横に並んで川沿いを歩いている。  
そして、僕が自転車をおしながら、隣にいるきみの横顔をみつめ  
たんだ。

すると、きみはこう言って、恥ずかしそう微笑む。

「きれいな 夕日だね」

「 そうだね」

ふたりとも緊張していたせいか、ぼつりぼつりでしか話ができな  
かった。

突然、夕立に追われて 僕たちふたりは走って逃げ込んだ鉄橋  
の下。

息が止まる程、きみに目を奪われた僕。

きみの肩まであるサラサラのかみのけが少し雨で濡れていたの  
ほんのちよつと透き通っていた制服のシャツ。

僕をすごくドキドキさせるきみの姿が瞳にやきつく。

自然とふたりの間に言葉がなくなって、僕は……  
切ないこの気持ちを素直にきみに伝えるよ。

この想いをきみへなにも伝えられなかったら、僕は後悔しそつだ  
から

「きみがスキだよ」

きみのまるくてクリクリした瞳が嬉しそうに細くなって、

「ありがとう」

と言って僕のシャツの袖を遠慮がちに細いしなやかな指を近づけて、  
照れたようにハニカミ、つかんだんだ  
ふいに、友達が  
恋人に変わる瞬間。

僕は特別な恋なんて、望んでなんかいない。

ただ、きみの涙をぬぐえるそんな距離にいつもいたい……  
そんな普通の恋。

今から、いちばんきみが僕の大切なひとになるんだ。

(後書き)

読んでいただきありがとうございました。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5470c/>

---

特別じゃなくていい - 初恋 -

2011年1月21日02時36分発行